

引用参考文献

- ・大森常良ら (1980) : 牛病学 (近代出版)
- ・伊沢久夫ら (1981) : 獣医領域における免疫学 (近代出版)
- ・笹原二郎ら (1979) : 獣医伝染病学 (近代出版)
- ・熊谷哲夫ら (1977) : 豚病学 (近代出版)
- ・越智勇一 (1962) : 家畜衛生学 (文永堂)
- ・社団法人動物用生物学的製剤協会 (1999) : 牛用ワクチンと診断液のご案内
- ・社団法人動物用生物学的製剤協会 (1999) : 豚用ワクチンと診断液のご案内
- ・米田寿男 (1967) : 動物用消毒薬とその使い方 (日本獣医師会)
- ・三共株式会社 (1978) : 三共畜産マニュアル (消毒編)
- ・綿貫 一、寶川左太郎、榊原欣作編 (1976) : 滅菌法・消毒法第1集 (光文堂)
- ・綿貫 一、寶川左太郎、榊原欣作編 (1979) : 滅菌法・消毒法第2集 (光文堂)
- ・綿貫 一、寶川左太郎、榊原欣作編 (1981) : 滅菌法・消毒法第1集 (光文堂)
- ・朝長文弥 (1976) : 日本薬剤師会誌第28巻第11号
- ・湯本芳夫 (1964) : 薬局第15巻第8号 (南山堂)
- ・芝崎 勲 (1973) : 医器雑第43巻第6号
- ・藤田構造 (1984) : 日本薬剤師会誌第36巻第4号
- ・横関正直 (1980) : 養豚と消毒 (チクサン出版)
- ・小林寛伊 (1984) : 日本薬剤師会誌第36巻第5号
- ・飯塚三喜 (1982) : 畜産の研究第36巻第1号
- ・柚木弘之 (1983) : 家畜診療第242号
- ・井上邦一 (1963) : 畜産の研究第22巻第4号
- ・飯塚三喜 (1984) : 畜産の研究第38巻第1号
- ・大学教育科学研究会編 (1960) : 学生化学用語辞典、共立出版
- ・河本廉太郎 (1977) : 畜産の研究第31巻第1号

おわりに

家畜の病気、特に、伝染（感染）をする病気を予防するための対策を防疫対策といいます。

その防疫対策をおろそかにすると、すぐ病気が発生して、飼っている家畜の治療費、飼料効率の悪化、発育不良、最悪の場合はその家畜のへい死等という、経営に重大な損失を来す結果にもなります。

毎日の防疫対策は、相手が眼に見えない「微生物」等ですので、どのようなことを、どれ位まで、どの程度実行すれば効果があるのかが良く理解しにくいのです。

防疫対策は、家畜飼養場所の「清掃、洗浄、消毒」と「家畜に対する免疫力の付与」と「最良の飼養管理」であります。

本書は、防疫の基礎的なことから、応用までをまとめたものであります。著者は、読者の皆様が「家畜防疫の基礎知識」を良く理解していただき、毎日の防疫対策が効果を上げ、畜産が少しでも良い方向に進展することを心から願っています。

最後に、著者が長年畜産現場で取り組んできた「防疫」について、執筆の機会を与えて下さった家畜改良センター信國所長、家畜改良センター宮崎牧場栗本場長及び関係者に心から感謝申し上げます。

平成11年3月

家畜改良センター宮崎牧場

次長 榊山 洋吉



家畜改良センター 技術マニュアル 4

家畜飼養に必要な
消毒マニュアル

著者／樺山洋吉

発行／農林水産省 家畜改良センター
企画調整室 企画調整課

発行日／平成11年3月

印刷所／不二印刷株式会社